

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	アートラボコドモブロス		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 29日		～ 2024年 12月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	放デイ45 児発8	(回答者数) 放デイ25 児発7
○従業者評価実施期間	2025年 01月 08日		～ 2025年 01月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 02月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個々の状況に応じたきめ細かな個別支援を行っている	モニタリング等で日々の様子を定期的にヒアリングし個々のニーズに沿った計画を立てそれを元に支援を行っている。	おうちでの困りごとや気になる点など保護者の方から気軽に相談できるような体制、機会の提供。
2	子ども及び保護者の高い満足度	子ども1人1人の性格や特性を理解した上でいま何が必要かをスタッフ全員で考え、支援に向き合っている。	引き続き保護者、子どものニーズに応じていけるよう関係機関とも連携を図り支援にあたっていく。
3	答えがないアートをを用いての療育	子ども達が楽しみながら自由にやりたい事に取組み、自分の表現や作品が認められるという経験を積めるよう支援している。	本人のやりたいことを全力でサポートしつつ興味の幅も広げられるよう様々な角度から提案を行う。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の連携までは支援ができていない	保護者同士が顔を合わせる機会が少ない	保護者交流会など保護者同士の関わりや相談の場を提供する。 親子参加型のイベントを企画する。
2	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアルの保護者への周知	職員への周知は行っているが保護者への説明については意識が弱くおろそかになっていた。	定期的な情報共有、教室内掲示などの対応を行い、分かりやすく周知を進めていきたい。
3	地域の場の活用や地域住民とのかかわり	年1回ある地域のイベントには参加し交流を図っているが、普段の支援では地域の場の活用や子ども達と交流する機会は提供できていない	公共施設の利用や地域の場の活用、地域の方との交流を増やせるよう企画する。